

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用・厚生労働省・国土交通省・㈱官公通信社・高齢者住宅新聞社・福祉新聞・日本経済新聞 他

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

〒501-3246

関市緑ヶ丘2-5-78

TEL：0120-337-301

FAX：0575-24-5733

大手食品関連企業が 障がいグループホームの 運営事業者を子会社化



※出典：高齢者住宅新聞・アニスピホールディングスのGH

持ち帰り寿司店などを展開する小僧寿し(東京都中央区)は11月16日、障がい者グループホーム運営・支援のアニスピホールディングス(同千代田区)の株式を取得し特定子会社とすることを発表した。

小僧寿しのIRによれば、アニスピHDの2021年3月期の売上高は10億1500万円、営業利益5100万円、経常利益4800万円。

小僧寿しはアニスピHD株式の95%を2億3000万円で取得する。1億3000万円を金銭で支払い、残り1億円分は現物出資分として藤田英明代表に小僧寿し株を割り当てる。これにより藤田氏は小僧寿し株を1.39%所有する第5位株主となる。

両社は16年にも、藤田氏が経営していた介護事業会社の「けあらぶ」の株式50%を小僧寿しが取得したことがあった。けあらぶを通じて高齢者施設運営会社を買収したこともあったが、赤字が続き19年に売却していた。その後、小僧寿し本体の「持ち帰り寿司事業」「デリバリー事業」などの収益性が改善。新たな成長事業を模索していた中で、再度藤田氏が経営するアニスピHDの株式譲渡を打診、取得が決定した。

アニスピHDは「ペット共生型障がい者グループホーム」を直営、またFC・レベニューシェアモデルで全国に展開。現在運営中のGHだけで600以上あり、開設予定を含めれば800超になるという。小僧寿しは、アニスピHD直営、また支援先施設の「365日の日常食」「イベント食」の提供を進めていきたい考えだ。

異業種の企業が介護事業者や障がい福祉事業との相乗効果を見出して連携を図るケースは少なくない。直近では異業種から介護事業者や障がい福祉事業への参入も多く見られている。今後も今回のアニスピホールディングスのようなケースは増えていくことも予想される。